

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	電気グリル鍋			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	COK-PYN120A-W	品番	08-1467	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	フリガナ ★お名前 様			
	★ご住所 〒 —			
	電話 ()			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話 (印)			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

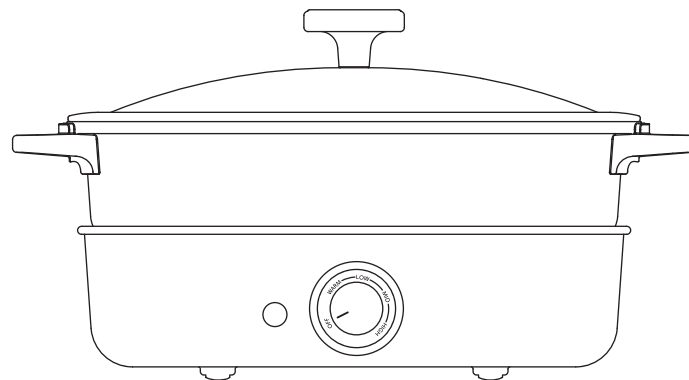
PULMORE

The Design

電気グリル鍋

型番:COK-PYN120A-W 品番:08-1467

保証書付取扱説明書



この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。

この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

●表示について:表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

	禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告		
 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 電源プラグを抜く
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	 ぬれ手禁止
 電源プラグを抜く	発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。	 水ぬれ禁止
	使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。 思わぬ事故や、けがの原因となることがあります。	 分解禁止
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	 指示に従う
	お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜いてから行う。 けがや感電のおそれがあります。	
	電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。 感電事故の原因となることがあります。	
	本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ショートによる故障・感電・火災のおそれがあります。	
	お客様自身での分解、改造、修理はしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。 ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。	
	梱包用のポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する。 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し死亡の原因になります。	

 禁止	電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	 禁止	揚げ物料理には使用しない。 火災の原因になります。
	電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。		カーテンなど可燃物の近くで使用しない。 火災のおそれがあります。
	故障や一部破損した状態で使用しない。 けがや感電のおそれがあります。		なべを直火(ガス台など)や磁気調理器(IHクッキング加熱板)、電気ヒーターの上にのせない。 火災、誤動作、故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントや電源コネクタの差し込みがゆるいときは使わない。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。		火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。
			お子さまだけでのご使用や、お子さまの手の届く場所で使用しない。 けがややけど、感電のおそれがあります。

 注意			
 必ず守る	水平の安定した場所に設置する。 本体が倒れ、やけど、けがのおそれがあります。	 禁止	お手入れの際は、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使わない。 本製品に傷がつくおそれがあります。
	熱に弱いテーブルクロスなどの上では使わない。 設置場所が焦げたり、火災の原因になります。		使用中に本体を移動しない。 火災の原因になります。
	加熱板で直接調理をしない。 付属のなべ以外をのせない。 火災・やけど・破損の原因となります。		調理物、油分、水が残ったままの状態では置かない。 なべが腐食する原因になります。
	使用中は本製品から離れない。 発火や故障のおそれがあります。		缶詰や瓶詰めなどを直接加熱しない。 破裂したり赤熱してやけどやけがをすることがあります。
	お手入れは冷めてから行う。 感電ややけどのおそれがあります。		予熱以外の空焚きをしない。 火災や故障のおそれがあります。
	使用後は必ずお手入れをする。 火災や発煙のおそれがあります。		蒸気に触れたり、手や顔を近づけない。 やけどの原因となります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。
 手を触れない	ふたをして調理するときは、ふきこぼれに注意する。 感電ややけど、故障の原因になります。	 禁止	「MAX」の線以上に水や材料を入れない。 お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因となります。
	調理中や調理後に、ふたを開けるときは、蒸気・湯滴・油の飛び散りに注意する。 やけどの原因になります。		専用のなべ以外使用しない。 過熱異常動作の原因となります。
	使用中や使用直後は本体・周辺には触れない。 やけどやけがの原因となることがあります。		調理以外の目的に使用しない。 火災や事故の原因となります。
 禁止	本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えない。 火災や故障のおそれがあります。	 禁止	本製品は家庭用なので、業務用として使わない。 使用時は加熱板となべの間に水や異物が挟まれているか確認する。 水や異物が挟まれたまま使用すると異常発熱し、火災や故障の原因になります。
	壁や家具などの近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色、変形などの原因となることがあります。		

⚠ 注意

⚠ 必ず守る	ふたを取り扱うときは、下記のような取り扱い はしない。 ◎ふたやつまみに傷が付き、破損やけがの原 因になります。 ◎ふたは破損すると細かなガラスの破片が激 しく飛び散るので十分注意してください。 ・強い衝撃を与えたり、急激に冷やさない。 ・部分的な加熱をしたり、直火にあてない。 ・なべからずらして使用しない。 ・ふたつまみを必要以上に強く締め付けない。 ・お手入れのときは、金属たわしやクレンザーな ど、ガラスを傷つけるものを使用しない。	⚠ 必ず守る 本体にピンや針金などの金属物など、異物を 入れない。 異常動作して、ケガ・感電・故障の 原因となります。 ふたを他の製品に使用しない。 ガラスが割れる原因となります。
----------------------	--	--

使用上のご注意



取り扱いを誤るとやけどなどの危険がありますので、本書に記載の
注意事項を必ずお守りください。

設置について

- 火気の近くや可燃物の近く、水のかかる場所には設置しないでください。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにしてください。(故障の原因)

調理前のご注意

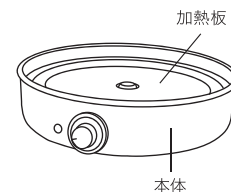
- コンセントに電源プラグを差し込むと電源が入った状態になります。(けが・やけどの原因)
- 調理前に、本体となべの間にガタつきがないことを確認してください。(故障の原因)
- 本体となべの間に水などの液体を入れないでください。(故障の原因)
- 本体やなべなどに食品カスなどの異物を付けたまま使用しないでください。(故障の原因)
- ふたの蒸気口が詰まっていないことを確認してから使用してください。(けが・やけど・故障の原因)

調理中・調理後のご注意

- 本体になべを載せたまま水や材料を入れる場合は、本体を水などでぬらさないようにしてください。(けが・やけど・故障の原因)
- 調理中に水や材料を追加する場合、ふきこぼれないようにしてください。(けが・やけど・故障の原因)
- 調理中に本体やなべにふきんなどをかけたままにしないでください。(変色・変形・火災の原因)
- 調理中や調理の直後は、移動させないでください。(けが・やけどの原因)
- なべのふたを開けるときは、蒸気口に触らないでください。(けが・やけどの原因)
- 沸騰し続けて、空だきはしないでください。(変色・変形・火災・故障の原因)
- 調理が終わりましたらすみやかにコンセントから電源プラグを抜いて、電源を切ってください。(けが・やけどの原因)

⚠ 注意

- なべを外すときは、必ず電源を「OFF」にする。
加熱が続くため、やけどや火災の原因になります。
- 調理中や調理の直後は、高温になるため、ふたやなべ、加熱板には絶対に手や顔を近づけたり、触ったりしない。
やけどの原因になります。
- 調理後は、本体の上に何かを置いたり、覆わない。
加熱板はとても高温になるため、置かれた物の材質によっては火災の危険性があります。
- 使用時は加熱板と本体の間に水や異物が挟まれていないか確認する。
水や異物が挟まれたまま使用すると異常発熱し、火災や故障の原因になります。



使用上のご注意

調理について

- ふきこぼれないようにしてください。(けが・やけど・故障の原因)



ふきこぼし注意



取っ手注意



ふたの蒸気に注意

調理禁止の食材について

- 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しないでください。(やけど・故障の原因)
- 揚げ物、長時間の焼き物や炒め物をしないでください。(油を入れると高温になり、破損・故障の原因)

長くお使いいただくために

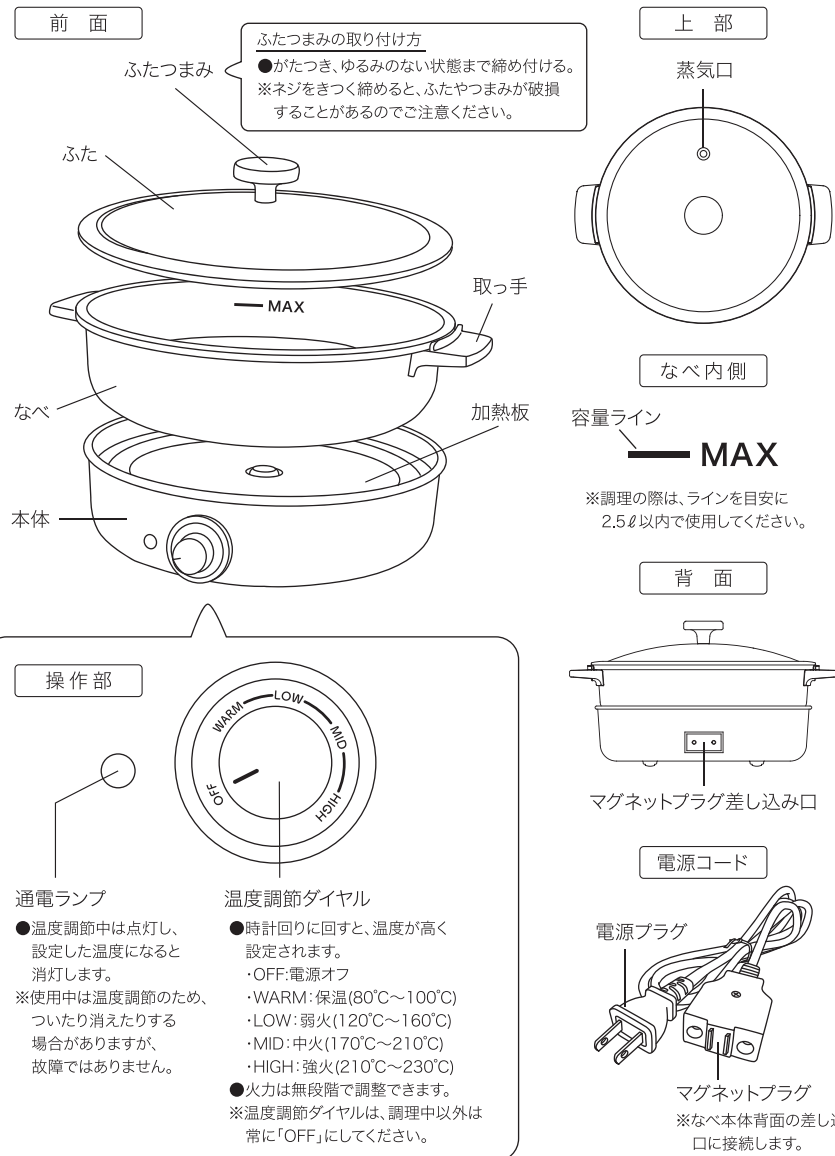
- なべのコーティングを傷つけないため、お守りください。
 - ・なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗わないでください。
 - ・かたい食材を調理するときは、なべの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしないでください。
 - ・金属製のヘラやおたまなどは使用しないでください。

仕様

商 品 名	電気グリル鍋
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	1,200W
温 度 調 節	(約)80℃～230℃
満 水 容 量	約3.5ℓ (MAX線: 2.5ℓ)
質 量	約3.2kg (専用電源コードを含む)
本 体 寸 法	(約)幅340×高さ183×奥行296mm
な べ (内 寸)	(約)直径265×高さ70mm
コ ー ド 長	約1.8m
付 属 品	マグネットプラグ付き専用電源コード、 ふた(全面物理強化ガラス)、保証書付取扱説明書

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番・品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。

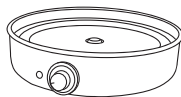
各部の名称



使用方法

1. 本体を水平で安定した、熱に強い場所に設置する

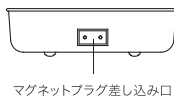
- 設置前に温度調整ダイヤルを「OFF」にしておいてください。
- 近くに可燃物がない場所に設置してください。



2. マグネットプラグを本体のマグネットプラグ差し込み口に差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込む

- 必ず温度調整ダイヤルが「OFF」の状態で行ってください。

※電源コードは束ねて使用しないでください。



マグネットプラグ差し込み口

マグネットプラグ

3. なべを本体にセットして、材料を入れる

- セット前に加熱板の異物や水分をふき取ってください。

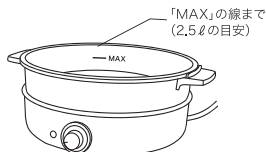
- なべを本体にしっかりとセットします。

※必ずなべの底面が加熱板にしっかりと密着するようにしてください。

※加熱板の上に本製品のなべ以外をのせないでください。

- なべ内側の「MAX」の線を越えないように、材料を入れます。

※「MAX」の線を越えてしまうと、けが・やけどの原因になります。

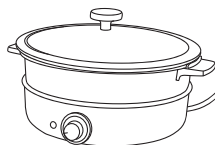


4. 料理の内容や、必要に応じてふたをする

- ふたを使うときは、必ずふたつまみを持ってください。

ガラスが高温になり、やけどをする原因となります。

- ふたをしないときよりも温度が高くなるので、できあがりの方が早くなります。



使用方法

5. 作る料理に合わせて温度調整ダイヤルを回し、なべが温まったら調理を始める

- 初めて使用するときは、においや煙が若干出ることがありますが、故障ではありません。

- 炒め物・焼き物の調理の際には、薄く油を引いてください。

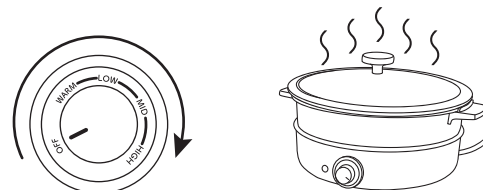
※使用中は、サーモスタットの働きで加熱板の温度が一定に保たれています。

※使用中に「カチッ」と音がすることがありますが、サーモスタットの動作音であり、異常ではありません。

※通電中や通電直後は加熱板がたいへん熱くなっています。絶対に触ったり、手や顔を近づけたりしないでください。使用中は本体の近くに、熱に弱い容器類などを置かないようにしてください。

変形・発火の原因となります。

※ふたを開けるときには、蒸気などに十分注意してください。



6. 使用後は温度調整ダイヤルを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグをマグネットプラグ差し込み口から抜く。

使用上のご注意

- 加熱板の上に本製品のなべ以外をのせないでください。
加熱板に本製品以外のなべをのせると、故障や事故、発火の原因となります。
- 加熱中や加熱直後の加熱板は高温になっています。やけどやけがの原因になりますので、完全に冷めるまでは絶対に触れないでください。
- 加熱直後のなべの底は高温となるため、熱に弱いテーブルには直接置かないでください。
加熱直後は鍋敷きのにのせることをおすすめします。
- 油を含んだ食材を焼くときは、油が飛ぶことがあります。
- ふたをすると、ふきこぼれやすくなりますので注意してください。
- 沸騰中に蒸気口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあります。
手や顔、水気に弱いものを近づけないでください。やけど・けが・故障の原因になります。
- 調理が終わりましたらすみやかにコンセントから電源プラグを抜いて、電源を切ってください。けが・やけどの原因になります。

お手入れのしかた

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショート・やけど・火災の原因となります。

十分に温度が下がってから、お手入れをしてください。
やけどの原因となります。

本体の丸洗いは絶対にしないでください。水や液体に浸さないでください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

本製品は食器洗浄機と食器乾燥機はご使用になれません。

ふた・なべのお手入れ

- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて、丸洗いしてください。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分を拭き取って乾燥させてください。

※食器洗浄機や食器乾燥機には入れないでください。

本体・加熱板のお手入れ

- やわらかいふきんで拭きます。汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用洗剤を含ませて拭き取ってください。
※本体に水や異物が入らないようにしてください。
- 加熱板のまわりに入り込んだ料理カスなどは、竹グシなどできれいに取り除いてください。
- 調理の汚れなどをそのままにして再度加熱すると、その汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。

収納する

- 直射日光をさけ、湿気が少ない場所に保管してください。
※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

故障かなと思ったら

通電ランプが
点灯しない

▶ マグネットプラグや電源プラグがきちんと差し込まれていない可能性があります。しっかりと差し込んでください。

通電ランプが点灯
したり、消灯したりする

▶ 温度調節機能が働いています。そのままご使用ください。

なべ・加熱板が
温まらない

▶ なべ・加熱板が正しく取り付けられていなかったり、異物のはさまってる可能性があります。正しく取り付け、異物のはさまっていた場合は、取り除いてください。

なべ・加熱板の温度が
上がらない

▶ 温度調節ダイヤルが「OFF」の位置にある可能性があります。温度調整ダイヤルを回し、電源を入れてください。

焦げる

▶ なべが汚れている可能性があります。お手入れのしかたを参考に、なべをきれいにして調理してください。

使用中に『カチッ』と
機械音をする

▶ サーモスタットの動作音であり、異常ではありません。そのままご使用ください。

電源プラグが熱い

▶ 電源プラグやコンセントが汚れていたり、ホコリが溜まっている可能性があります。きれいに拭き取ってからご使用ください。

通電ランプが
消灯しない

▶ 温度調節ダイヤルが「OFF」の位置になっていない可能性があります。温度調節ダイヤルを「OFF」の位置に合わせてください。

なべを外したのに
加熱板が熱い

▶ 温度調節ダイヤルが「OFF」の位置になっていない可能性があります。温度調節ダイヤルを「OFF」の位置に合わせ、ランプが消えているか確認してください。